

今回も、なかよし委員会のみなさんが企画・運営を担当し、「〇×クイズ」と「絵しりとり」で子どもも大人も盛り上がりました。「〇×クイズ」では、西川小学校や西川町に関する問題が出題され、班の仲間と相談しながら答えを確かめていました。「絵しりとり」では、班の仲間が描いた絵を見て「これは何？ 馬？ 恐竜？」『コアラ』だから『ラクダ』だ！」と想像を膨らませながら楽しく考えていました。時折、あちらこちらから笑い声が起こり、和気あいあいとした雰囲気での会が進みました。

異年齢でつながる縦割り班活動は、同学年の子どもが大きく減少している中で一層大切にしていきたい教育活動の一つです。かつて地域の中で当たり前のように見られた「異年齢での遊び」は、子どもの育ちにおいて大きな意味をもっていました。今後は、「学校の中の異年齢」に限らず、地域における様々な年代の方とのつながりを含め、異年齢で関わる活動をより多く展開していきたいと考えています。



9/29

たくさんお米がとれたよー5年生の稲刈りー

5年生が黄金色に輝く稲の収穫を行いました。春に手植えし大きく育った稲を、一株ごと鎌で刈り取りました。数株まとめて紐で結び、最後は穂先を確かめながら杭がけをしていきました。

その後、米作りにご協力いただいている川井大輔さん（海味）のご厚意で、コンバインでの収穫の様子も見ていただきました。数株を一気に刈り取り、瞬時に籾と藁に分ける機械の仕組みについて、子どもたちは大きな関心をもったようでした。

収穫したお米は、今後、家庭科の学習でおいしくいただく予定です。



9/25

名水サミットへ参加 4年生が堂々の水源地宣言

本県で初めて開催された「名水サミット」に4年生が参加し、「西川町の豊かな水環境を守る」と誓いの言葉（水源地宣言）を述べました。

4年生は、社会科の学習やふるさと楽行を通じて、「水」のことについて学びを深めてきました。今回の名水サミットへの参加は、これまでの学びをより広げる意味で、子どもたちには貴重な体験となりました。また、環境を守ろうとする多くの方々の思いにふれたことで、環境について新たな考えをもつきっかけにもなりました。参加した地域の方からは、「一人一人が堂々とした発表で感動しました」といううれしいお電話もいただきました。



9/25

秋が深まる月山へ 3年生「ふるさと楽行」

前回のふるさと楽行では夏の月山に登り「ミニ登山」を楽しみましたが、今回は秋の月山登山に本格的に挑みました。

この日は霧雨混じりの天候で、雨具を着用しての登山となりました。リフトを降り牛首方面へ歩くと、夏のときとは違った景色が広がりました。牛首の手前まで歩いた後、来た道をゆっくりと戻っていきました。途中、月山ならではの「黄色の絨毯」（草紅葉）を目にすると、「草が黄色になってる！」と驚いた表情を見せていました。子どもたちは、夏に続き秋にも登ったことで、季節ごとに違う月山の魅力について、また一つ見方を広げたようです。



9/29

月山和牛給食 西川の特産品で笑顔いっぱい

西川町の特産品「月山和牛」が給食に登場しました。この日のメニューは、牛肉をたくさん使ったボリューム満点の「肉じゃが」。いつもは豚肉を使用していますが、やわらかい牛肉のおいしさやこく深さを堪能し、子どもたちに笑顔が広がりました。

今回使用した牛肉は、地産地消の一環として、子どもたちに町の特産品を味わってほしいということで、町からご提供いただきました。今後も、また違うメニューで給食に使用する予定です。



体ストレッチワンポイントアドバイス④

皆さんの未来の健康は、「今」の積み重ねで大きく変わります。自分の体は自分でととのえ、様々なことにチャレンジできる健康でたくましい体をつくっていきましょう。

足の指を動かそう！歩くときも、走るときも大事！

（足指のグー・チョキ・パーを片足 10 回ずつ：両足同時でも大丈夫です）

足の指は、バランスをとったり、地面をしっかり踏んだり、前に進む力を出したりするのに役立ちます。

グー



チョキ



パー



●注意点

体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。

山形済生病院 健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 貢